第4回

ますみが行く!!

1期目の私にとってはお話をする事すら緊張する先輩ばかりの長崎県議会。しかし勇気を振り絞り4回目のご出演をお願いしたのは…佐世保市選出の宮内雪夫議員!!なんせ、10期目ですよ。76歳ですよ。私が1歳の時にはもう議員になっている議会の生き字引でございます…ではいざ突撃です。

ますは、宮内少年の生い立ちを…

生後5カ月でお父様を肺結核で亡くし、大変な苦労を…。おかぁ様も息子を育てるために必死で働いてくれたものの生活は大変。成績優秀だったので特待生で西海中学と高校に進学したそうですが、様々な雑役などのアルバイトをして家計を助けていたそうです…いやーあのダンディな装いで私は正直どこかのお坊ちゃまだと思っていたので、本当に驚きです!! 小さい頃はすまこさんという方が面倒を見てくださっていたそうですが、この方が知的障害の方で、それが宮内少年を政治へと向かわせた一因に…。にこにこしながら、お話してくださっているけど…本当に苦労なさっているんだろうなぁ。

英語の先生だったぁ?!

高校を卒業しても進学出来るはずもなく…そこで代用教員として動き出す訳ですが、英語の先生だったんですって…意外だぁ(あー失礼しました、笑)。1年後にそこで出会った校長先生がとても良い方で交通費を出すから大学受験をするようにと勧めてくれて…人との出会いって大切だなぁホントに。大学に入ってもありとあらゆるアルバイトをしたそうです…米軍の通訳とか…書けない事なども(笑)。中学の頃から働いていた事もあって、かなりおませだったか、まぁ要はかなりおもてになっていたって事ですよね…武勇伝はまたゆっくり教えて下さいまし♪

当時は下宿生活。事故で両足を切断して義足をして働いていたここのおかぁさんもビルマでご主人が戦死しており、3人の子育てをしている苦労人だったとか。母子家庭でのご苦労もさる事ながら、そこのお子さんの二人が障害者の方だったということ。宮内青年は幼少期の思い出とともに「福祉」に興味を抱くようになり、ボランティア活動などに精を出す事に…。働きつつボランティアをしながら、日本大学法学部と早稲田大学文学部を卒業するって、ほんと尊敬です!!

あさだ
浅田 ますみ
小島小、中、長崎南、活水短大卒業。学生時代からラジオ制作、イベント企画の仕事に携わる。07年4月から県議会議員。07年9月号～08年3月号まで「ますみの県庁ぶらぶら」を連載

政治の世界にはどうやって?

さてさて、そんな宮内青年が福祉というものを考え、行動するうちに「政治の必要性」を感じるようになり、その頃友人が佐世保出身の代議士を紹介してくれて1年間住み込みで書生を始めることに。これがお給料もなく、髪を切るお金を数カ月に一度もらう

御大の巻

議会の生き字引、宮内雪夫議員と

流石…重鎮の言葉は心にしみます

だけ。「我慢を重ねるといつかそれは必ず報われると信じて」。この言葉は身に染みました…。

その後4年間秘書を務め、28歳で佐世保から県議会議員選挙に出るも落選するわけですが、ここでも人との出会いが…当時の佐世保市の辻一三市長。東京の佐世保事務所の所長として迎えて下さったそうです。それも車付きで、まぁ当時としてはなんて贅沢な。その後2年間秘書課長をして、次の県議選に挑戦を。この時に懇願をする方々に辻市長が「明宮円雪夫が一念発起して戦うわけだから応援するのが人情だろう」と一喝…ほんと苦労しながらも周囲の方々に恵まれていたんですね。そして33歳で初当選!!

姉様のパワーは、みんなの笑顔

当時の議会を振り返って頂くと、「とにかく迫力と活力があった」「是々非々でみんな徹底して戦っていたし、2元代表制と言うのがもっと明確だった」。んーなるほど、今とはちょっと違うみたいだなぁ…なんせ、4人の知事を見ていますからね…その時々の在り方を知っている訳です。今が活力ないという事は私たちも反省です。「なんか今は細々してるなぁ」とも(笑)。

さて宮内議員は、子供の頃からの家庭環境や下宿時代の出会いから福祉と言うものに力を注いできたわけですが、県内の地域環境を鑑み、佐世保と平戸に知的障害者の施設と老人ホームをもうけています。「初めてここにかすかな光を」を創設精神にしているそうですが、施設建設にも色々なご苦労があったようです。それらを支えたのも子供の頃からのご苦労とそれを乗り越えてきた経験なんですね。もっと福祉国家日本にする為にと言う思いで市長選や国政にも挑戦したそうですが、その夢は叶わずとも自分の地域で「日の当たらない多くの人々に手を差し伸べ続けたい」との思いが常にご自身を奮い立たせてるんだとか。

また貧困のなか沢山の人が助けてくれた事に対し、シュバイツァーの精神で「自分が受けた愛は必ず周りの方に返さなければいけない」との言葉を実践したいとの思いから。そして関わる人の笑顔が自分の糧続へのパワーになっているとのお話は、必要としてくださる方がいるからこそ、頑張って政治を続けようとの思いになるのは、わずか2年半ですが私も判る気がいたします!

笑顔が印象的でした

先輩曰く…

しかし、40年の継続ってホント大変だろうなぁ…2年半で疲れちゃいけないぁ…と反省していると「常在戦場だよ」と。見せて頂いた手帳はびっしりとスケジュールで埋め尽くされて「明日選挙になってもいいようにしている」…すごい。10期してもその心構えに感服です! 読み終えたばかりの本は細見祐介著の「ナポレオン伝記」。いやーどこまでも戦う精神ですよ。そして、初心を忘れないようにと強くおっしゃっていましたが…ほんとですよね。県民の代表で今の自分があることを忘れずに頑張んなきゃ♪

そんな宮内議員の原点は…奥様だとか(笑)。東京から連れてきた美女ですもんね。今年金婚式を終えられたばかりですが、50年間支え続けて下さった奥様にはいくらなんでも頭上がらない訳ですね(笑)。そう仰った笑顔がとてもチャーミングでした!!

大先輩に感謝しつつ…おしまいっ♪